

6月報告書



常陸太田市地域おこし協力隊 梨栽培 武藤春香

行った主な活動

■ 二次摘果

一次摘果で取り忘れた果実や、新たに黒星病にかかった果実、期待していたほど大きくならなかった果実を摘果した。毎日少しずつ果実が大きくなり、降雨後は特に肥大が進んでいた。



■ 就農予定地の種まき

水はけを改善する目的でひまわりを播種した。播種後、トラクターで浅く耕耘して土をかけた。地域おこしのPR、農業への関心を広めることを目的に種まき体験イベントを行った。



活動を行った感想など

摘果の取り忘れはかなり少なくなり、作業のスピードが速くなってきた。一方で形の悪いものや小さいものを残してしまうことがあるのでより厳しい目で選抜できるようになりたい。着任前から農業体験をしたいという思いがあったので、「ふれあい農園」と称し、ヒマワリの播種体験会を試験的に実施した。告知期間が短かったため参加者は少なかったが、楽しかったとの感想をいただいた。駐車場の確保や保険の加入、準備物、段取りなど必要なことが一通り把握できてよかった。

今後の目標など

農家研修で学んだことと自宅学習で学んだことを整理し、自分の畑の栽培方法の方針をまとめる。

酸性粘土質土壌・水はけの改善について、書籍やほかの生産者から情報を収集して就農予定地の土壌改良を行う。

補助事業申請の都合上、9月までに畑の作付け計画を完成させる。